

Case 04

顧客より社員優先で ダイバーシティを推進

株式会社 日本レーザー（東京都新宿区）

COLLABORATION SYSTEM



ダイバーシティ関連数値

60歳以上の社員比率 **10%**

株式会社日本レーザー

設立 1968年

業種 小売業、卸売業

社員数 59名（2024年4月時点）

事業内容 各種レーザー機器装置及び光学機器の輸入販売

レーザーと光の専門商社である日本レーザーは、30年以上前からダイバーシティ経営に取り組んでいる。国籍、年齢、性別、学歴を問わず採用を続け、現在は女性社員比率30%以上、60歳以上の高齢者も10%を超える。30年連続で黒字を記録し、ビジネスも右肩上がりだ。

ダイバーシティ経営に取り組むきっかけは、経営の悪化による人手不足だった。そこで、意欲のある候補者であれば、経歴にかかわらず積極的に採用。新卒一括採用も廃止し、常に社員が入社できるようにした。

ダイバーシティ経営を実践する上で大切にしているのは、顧客よりも社員を大切にすることだ。そのために、情報の透明性を高め、公正な待遇や評価を行っている。透明性を担保するために、全社の受注や粗利の見込み、実績を、部別・グループ別・個人別に公開。全員が業績を知っている状況を整備している。また、昇給や昇格の基準も明確にし、性別や障がいの有無、年齢にかかわらず、能力や成果によって評価。納得できない場合はお互いに納得するまで話し合うようにしている。

同社が信条とするのは、各事業のことは携わる社員が一番理解しているということ。人事や組織、事業計画、策定などに関しては会社の都合より社員の希望や事情を優先し、ボトムアップの組織づくりを行なっている。



人は生涯をかけて成長するという考えのもと、生涯雇用を実践。65歳までは無条件で再雇用し、その後も本人の意向次第で、再々雇用する。実際に、4名の社員が70歳を超えても働いている。